

電子入札に使用するアプリケーションの 更新作業が必要になります！

お知らせ

Oracle 社が提供する電子入札専用 JRE 8*のサポート終了に伴い、**2020年9月14日頃**に 京都府電子入札システムへの接続方式が新方式に切り替わる予定です。

※Java Runtime Environment 8 : Java8の実行環境

お願い

アプリケーションの配布と更新方法は、電子入札に利用されている ICカード発行元の民間認証局より順次アナウンスされます。
アナウンスをご確認の上、アプリケーションの更新作業を実施してください。

民間認証局一覧

<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>



【注意事項】

- アプリケーションの更新作業を実施しない場合、新方式に切り替わった京都府電子入札システムを利用することができません。
- 更新作業後は、各発注機関の切り替えを意識することなく電子入札システムが利用できます。
- 民間認証局・発注機関の問合せ窓口の混雑が予想されますので早めの更新作業をお勧めします。

本件につきまして、ご協力をよろしくお願い申し上げます。